

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1192300018		
法人名	有限会社 福寿		
事業所名	グループホーム わこうの丘		
所在地	埼玉県和光市下新倉3-7-7		
自己評価作成日	平成25年2月1日	評価結果市町村受理日	平成25年5月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	平成25年2月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームでは、家庭的な雰囲気を目指す観点から食卓はなるべく、わこうの丘の畑で育てた野菜や近隣農家から購入した食材として地産地消を心がけていますが、調理におきましても利用者様が可能な限り参加して楽しい食事作りを心がけています。
また、居宅空間におきましては、国の基準7.43㎡(4.5畳)を超えて13.24㎡(8畳)で各室トイレ、更には、スプリンクラーを設置して、安心・安全な生活を提供しております。夏に行う納涼祭では、地元中学校の吹奏楽団や婦人会の盆踊り、有志の三味線の協力を得て開催しておりますが、地域の方約200名が参加されるなど地域交流を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・研修や申し送り時を利用して、職員に対する理念の意識付けが行われ、利用者に対する見守りと寄り添いを優先させることが、日々の支援で実践されている。また、市からの委託で「うえるかむ事業」の開催などを継続し、利用者だけでなく、地域の高齢者への支援が活発に行われている。
・ご家族アンケートでも、「職員に笑顔が多い。せかさず、ゆったりとした雰囲気」、「食事が自宅と同じような家庭的な献立」などの評価が得られており、ご家族が現在のサービスに満足されていることが伺える。
・目標達成計画の達成状況については、地震と火災を想定した訓練が行われており、ラジオや懐中電灯・備蓄など、必要なものの検討を進め揃えつつある。また、清掃担当職員を中心に清掃が行われ、共用空間と居室の清潔維持と衛生管理に努められ、目標達成への取り組みが行われている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝または、出勤後、申し送り後にスタッフ全員で理念の唱和をし、日々の業務に反映させている。	新入職員への勉強会と外部研修の実施及び申し送り時に職員全員で理念の確認を行うことで、理念が日々の業務に活かされ、見守りと寄り添いを優先させる支援が徹底されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回の食事会、うえるかむ事業、夏祭り、町内会への参加をし地域の方々と交流を行っている。	市からの委託である、「うえるかむ事業」の予防体操や音楽療法などが継続され、地域との交流が続いている。また、認知症や成年後見制度の学習が行われ地域の高齢者支援のための職員の能力向上が図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	うえるかむ事業や食事会、中学校や高校の職業体験の受け入れを行い、地域の人々に理解をしてもらえよう努力している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の委員に町内会長が所属しているので、町内会の老人会や夏祭り或いは防災訓練への参加をかけて頂いているので、可能な限り参加している。	定期的に開催され、報告や情報交換だけでなく、家族からの質問や要望を話し合っている。また、参加者より、地域の催しへの参加に関する助言などもいただき、共に、事業所の運営やサービスの向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	お互いに連携を取っており、協力関係が築かれている。	市の担当者とは、相談ごとにはきめ細かく具体的に解答をいただくなど、緊密な関係が築かれている。また、地域包括支援センターとは困難事例の相談を行い解決をするなど、良好な関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、夜間に行っている。昼間は必要最低限度で行い、利用者様の安全に努めている。	利用者に寄り添うことを優先し、日中は玄関の施錠は行っていない。落下の可能性が高い利用者の安全確保の観点から家族の承諾の下、夜間のみベッド柵が使用されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴の際の身体チェックや利用者様や家族の様子を常に気にかけて変化に気づけるようスタッフ間防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市民後見人養成プロジェクトの体験活動の一環として、介護福祉士施設の実習を受け入れている関係から、介護職員に市民後見人制度について勉強会を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	1つ1つ理解していただけるよう説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で利用者家族代表者が参加しているので介護全般についてご意見(提案)をいただき事業運営に反映している。	利用者については、日頃の関わりの中で意向を捉え、家族からは、来訪時に利用者の様子などを伝えることで、意見や要望を伺うようにされている。出された意向や要望などは、検討を経て運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングの時や個人面談を行ったりして意見を交換し、改善するよう努めている。	ミーティングや申し送り時に提案を聴いたり、意見交換が行われ、休憩時に個人の話をお聴きすることなどもなされている。グループホームと小規模多機能型居宅介護の双方の提案や要望は共有して検討され運営に活かされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月のミーティングや各人からの要望を聞いて可能な限り職場環境の改善に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	指導や助言を行ったり、研修への呼びかけを行って、参加出来る様に進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の同事業所と、月1回交流を行っていたが7月で終了。今後は検討していきたい。またサービスの質の向上のため、講師を招き勉強会を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者及び計画作成担当者との話し合いの中で、出来る限り要望に応えられるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	地域包括支援センターの担当者との話し合いを踏まえて、管理者及び計画作成担当者との話し合いの中で、出来る限り要望に応えられるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者及び計画作成担当者との話し合いの中で、出来る限り要望に応えられるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能を活かし関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護保険は家族との交流も大切であることを話し合いながら、家族の支援を行えるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の人が訪問してきてくれる。	近隣の友人・知人の来訪が多く、町内会の行事に参加したり、入居前に住んでいた自宅近辺の訪問や店舗での買い物、墓参りなども行われ、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援がなされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の場所を変えたり一人ひとりにあつたレクを考えて皆で行えるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	近況を聞いたり、食事会に誘うなど関係を繋げている人もいるが、来ていないところもある。		
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	フェイスシートの活用やミーティング、話し合いを通じて出来る限りその人らしい生活に近づけるよう努めている。	職歴や生活歴を捉え、できる事はやっていただき、役にたっていると実感していただくことで、利用者の思いや希望を引き出し、その人らしい生活を送っていただくための支援がなされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートの活用やミーティング、話し合いを通じて出来る限りその人らしい生活に近づけるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	フェイスシートの活用やミーティング、話し合いを通じて出来る限りその人らしい生活に近づけるよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングや申し送り、必要に応じて話し合いを行い、代表が家族と連絡調整を行っている。	利用者や家族の意向を踏まえ、訪問診療医や通院先の医師の意見も加えてカンファレンスを行い、現状に即した介護計画の作成とモニタリングがなされている。	認知症の勉強会などが行われていますが、ケアやモニタリングのためのスキルをより向上させるために、段階を追った研修などの確立を期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテに記入したり、申し送りノート、業務日誌に記入する事により職員間で共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要であれば居室にて食事をとったり、見守りが必要な場合は小規模フロアで夜間対応を行い安全確保に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣にある古民家や博物館、公園など利用者様に楽しんでいただけるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医と連携が取れている。	入居時に嘱託医の説明を行い、医療機関の選択をしていただき、従来からのかかりつけ医を選択された場合の通院は家族の協力を基本とし、困難な場合は職員が付き添い、適切な医療が受けられる支援がなされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週二回看護師を配置している併設の小規模に看護師が常駐しているため必要な時は連携をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りケアについて家族へのお知らせと意見を聞いている。	入居時に利用者、家族と終末期の対応について説明が行われ、意志確認がなされている。家族から看取りの希望もあり、訪問診療の医師の協力を得たり、職員の意識の統一をはかるなど、対応出来る体制が作られている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に行っている。また往診医の指示のもと看護師が指導している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行っているが、地域との協力体制が不十分である。防災訓練、火災訓練を行っている。防災への準備は行っているが不十分である。夜間を想定して訓練を行う計画をしている。	地震と火災を想定した訓練が年二回行われており、居室に備えるラジオや懐中電灯・備蓄など、必要な物の検討を進め揃えつつある。また、発電機や備蓄用の倉庫の設置なども検討されている	災害発生時には、近隣の方々の協力は不可欠と想定されます。近隣の方々に訓練に参加していただくための工夫をし、災害時の協力者を確保していくことを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの保護や言葉遣いには、細心の注意を払っている。	利用者が知られたいくないことや見られたいくないことは、他人に気付かれたいないように注意が払われ、利用者の状況に合わせて、言葉使いにも配慮がなされている。また、個人の意向を汲み、同性介助にも対応されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員間の連携により、利用者様の希望や自己決定を促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿って支援するように努力しているが、安全面を考慮したり、職員の都合を優先してしまうこともある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に出来る方は準備や片づけを行って頂き、食事が楽しめるよう心がけている。また二ヶ月に一回外食を行い好きな物を食べて頂くようにしている。	地元で調達した食材中心の献立に、行事食や外食などを組み合わせ、変化が楽しめる食事となっている。また、できる方には準備や片付けを手伝っていただき、日曜日には職員と一緒におやつ作りを楽しまれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各チェック表を活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来ている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	チェック表を活用し支援を行っている。	日中はトイレでの排泄を原則とし、排泄チェック表などを活用した適切な誘導が行われ、夜間も起きられる方にはトイレへの誘導が行われている。また、トイレのある居室があり、自立への支援に効果をもたらしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師と連携し個別支援に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は概ね決まっているが、希望に沿って対応している。	週2回の入浴が基本であるが、希望に沿った入浴も可能である。また、個浴と機械浴が備えられ、二名での対応が行われるなど、安全で安心な入浴の支援がなされ、季節湯などの配慮もなされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬表とチェック表を作成し支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴に反映した役割りや楽しみへの支援は努力しているが、不十分な所もある。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出先の安全を考慮し、出来る限り外出の機会を設けているが、職員配置の点から一緒に行動できない時もある。	日常的に散歩が行われている。また、買い物、外食、ドライブ、町内会の催しへの参加など、利用者の希望を叶える外出支援が、安全面に配慮しながら行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理できる方には、所持したり、使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来ている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間に花を飾って季節感を出したり、空間作りをしたり、居心地良く過せるよう工夫している。	季節ごとの花や利用者と職員と一緒に作る作品が、共用空間を飾り、生活感と季節感を感じさせている。また、清掃担当職員を中心に、できる利用者には手伝っていただき、共用空間と居室の清掃が行われ、清潔維持と衛生管理に努められている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席を考慮したり、ソファを利用したり工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や好みの物を活かして居心地良く過していただけるよう工夫している。また日替わりで布団干し寝具の衛生を保つよう心がけている。	使い慣れた家具や思い出の写真、仏壇など、落ち着いて生活していただけるものを、自由に持ち込んでいただいている。また、トイレや小キッチンが付いている居室も多く、快適に過ごせる環境作りに一役かっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険が及ばない限り、自由に過してもらい、自立した生活が送れるよう工夫している。		

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム わこうの丘

目標達成計画

作成日: 平成 25年 5月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	新しく入ったスタッフや現場経験の浅いスタッフも含め認知症についての理解やケアについて理解が不十分である。	新しく入ったスタッフも含め介護職員が認知症の理解やケアについてスキルアップのための研修会を定期的に設ける。	月1回のミーティングを活用し認知症の勉強会や外部からの講師を招き講義・講習の実施する。四半期に分けて行う。	12ヶ月
2	35	防災倉庫が確保が出来ていない。又夜間想定 の避難訓練が出来ていない。	防災倉庫の場所設備を揃え災害時の対応を強化する。夜間の避難訓練を行い近隣の応援体制を図る。	防災倉庫の設置・飲料水・備品の確保を行いうえるかむ事業など地域支援事業を通じて住民との協力体制を構築する。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。